

仙台高等専門学校 名取キャンパス

仙台高専 香りの抽出グループ

松がレモンの香り？クロマツで無添加除菌スプレーの開発！

クロマツから採れる精油には脱臭・抗菌作用を示す成分であるピネンやリモネンが含まれる。私たちは、精油の抽出法の「水蒸気蒸留法」を用いてクロマツの成分を抽出し、クロマツの香りと抗菌性のある無添加抗菌スプレーを開発している。



山形県立鶴岡南高等学校

探究活動「鶴南ゼミ」

地域活性化

全校生徒が取り組む探究活動で、地域活性化の活動をしている。昨年度、寂しくなってしまった鶴岡駅前に活気を取り戻すべく「鶴お菓子祭り」を企画運営した。今年度はイベントの更なるパワーアップといかにして地域活性化につなげていくかというテーマを掲げて活動をしている。



山形県立村山産業高等学校

農業部 バイオテクノロジー班

エンドファイトで施肥削減！地球に優しい農業を実現する

エンドファイトは、悪い影響を宿主植物に与えない微生物の総称。本校の演習林や牧草地などの土壌から地域特産物のソバに対応したエンドファイトを見つけ、ソバの収量に関する改善策としてエンドファイトを活用した農業を提案している。



創学館高等学校

モノづくり倶楽部

SDGsで拡がる協働の和 ～人と人のつながり～

①再資源を利用したものづくり教室、②地域行事への参加、③高齢者事故防止運動、④自然エネルギーを利用した横断歩道表示器の設計・製作。学校で排出されたペットボトル18,000本で戦艦型みこしを製作。天童夏まつりコンテストに参加した。



山形県立山形西高等学校

放課後実験倶楽部

メダカの学校Ⅱ ～小学生とともに学ぶ地域の生き物～

山形市内の小学校5年生と一緒にビオトープでキタノメダカを放流した。キタノメダカはビオトープで順調に繁殖し、現在百匹以上に増えている。ヤゴやアメンボなどもさらに増えている。キタノメダカの生息地の調査も行っている。



米沢興譲館高等学校

環境DNA班

環境DNAを用いた希少生物ゲンゴロウ属の調査方法の確立

「環境DNAを用いた絶滅危惧種の調査方法の確立」の研究を行っている。ゲンゴロウ属のDNA調査を開始。ゲンゴロウ属の急速な生息数の減少と野生環境下で実際に観察したことで、生物多様性の保全の重要性と身近な自然の大切さを痛感した。



福島県立葵高等学校①

科学部 メダカ班

会津メダカからみる遺伝的攪乱の研究 ～ご当地メダカを守れ～

福島県会津地域に生息する野生メダカ（会津メダカ）の遺伝的攪乱の調査を通して、生態系の保全活動の研究を実施。会津地域全域を対象に41カ所を探索し、17カ所で野生メダカの生息を確認。他地域由来のメダカが侵入している事実が判明した。



福島県立葵高等学校②

科学部 水質班

定量化できる水質測定法の開発 ～信頼性・再現性のある濃度測定を目指して～

河川の水質調査で、信頼性と再現性のある濃度測定法の開発を目指し、「パックテスト」と「ピコエクスポローラー」を併用した濃度測定法を開発。全国で実施される水質調査に活用してもらえるよう、学会や論文でデータを公開する予定である。



福島県立平工業高等学校

生徒会

「もったいない！」から、はじまる環境活動

①アルミ回収による老人ホームへ車椅子寄贈、②アフリカ・マリ共和国ヘジャージや運動靴を贈る活動、③インクカートリッジ回収による開発途上国支援、④ペットボトルキャップ回収による世界の子供達にワクチンを贈る活動。





関東

26 団体

茨城県立竹園高等学校

スーパーサイエンス部 (SSC) 生物班

低投入多収型稲作SRIの普及に向けた検証 ～里山の生物多様性の保全およびSDGsの達成を目指して～

新しい稲作技術SRI農法の多収量の要因を科学的に検証し、その普及の礎を築くことを目指し研究に着手。今後、科学的知見が蓄積し、信頼性が向上し普及が進めば、多収量・低環境負荷の稲作が実現し、生物多様性保全、SDGs達成に貢献できる。



栃木県立那須拓陽高等学校

大山農場プロジェクト

「オシャラクブナの里」創造計画

栃木県那須地区を「オシャラクブナ（ミヤコタナゴの方言）の里」としてブランド化していく。ミヤコタナゴが住める環境を再生して生息地を増やし、生物多様性の保全を図る。地域ぐるみで、人と自然が共生する持続可能な社会を構築する。

